



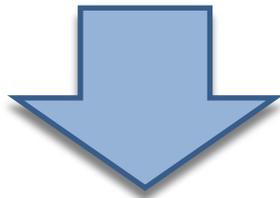
**日本人住民と外国人住民の協働
～芝園団自治会を例として～**

2022年度の役員



- 年代が多様（20代から80代）
- 出身国が多様
（中国、日本、ガーナ、バングラデシュ）
- 学歴も多様（高校卒業から大学院卒業）
- 宗教も多様
（キリスト教、イスラム教、仏教、神道など）
- 居住期間の長さも多様
（入居開始の44年前から、わずか数年まで）

**協働の前提には
共通の目標**



**多様な人々の
課題は異なる**

孤独死
の問題

子どもを連
れて集まれ
る場所が欲
しい

インター
ネットが
使えない

放課後、
子どもの
遊び場が
必要

日本語
が分から
ない

お祈りの
場所が
欲しい

様々な「ちがひ」が
あると「共通の目標」
を持ちにくい

インター
ネットが
使えない

放課後、
子どもの
遊び場が

協働がしにくい
環境になる

欲しい

■心構え（物事に対処する心の準備）

- ① 多様な状況に配慮することを意識
- ② 各々の言い分は、どれも間違っていない
- ③ 扇の「かなめ」になる覚悟が必要

■具体的な行動

- ① 協働しやすい環境かどうかを把握
- ② 個別の人間関係を築く
- ③ 関われる範囲で関われるように調整



要

Designed by pngtree

参照先: https://ja.pngtree.com/freepng/red-line-simple-japanese-style-and-fan_4137151.html

■心構え（物事に対処する心の準備）

- ① 多様な状況に配慮することを意識
- ② 各々の言い分は、どれも間違っていない
- ③ 扇の「かなめ」になる覚悟が必要

■具体的な行動

- ① 協働しやすい環境かどうかを把握
- ② 個別の人間関係を築く
- ③ 関われる範囲で関われるように調整





